



平成29年と平成30年は、大政奉還と明治維新からそれぞれ150年にあたる。この全国的にも意義深い2か年に、高知県の幕末維新期の歴史を辿る博覧会を県内全域で開催し、多くの観光客の誘致を図るとともに、その開催を通じて、地域地域における歴史資源の磨き上げ、磨き上げた歴史資源と地域の食や自然などを連動させた周遊コースづくり、外国人観光客を含めた受け入れ環境基盤の整備に取り組み、本県の歴史観光の基盤づくりを図る。

開催趣旨

入館者数
【3/4~
7/17】

<全会場23施設>

合計 606,505人 (基準値: 1,360,915人、H30目標: 1,729,000人)

(注) 基準値は、概ね平成24年から平成27年までの4か年平均の数値(4年分データがない場合は準じる平均値等で設定)

<メイン会場>

県立高知城歴史博物館 103,594人 (基準値: -、H30目標: 120,000人)

<地域会場20施設>

合計 329,291人 (基準値: 706,469人、H30目標: 859,000人)

【ゴールデンウィークの状況】4/29~5/7(9日間)

主要観光施設の利用状況

262,839人 前年比17,199人増(7.0%増/昨年10日間)

これまでの取り組み状況

1. 歴史資源の磨き上げ(リアル化)

将来にわたって活用できる歴史資源の整備

1 展示内容等の充実強化

- 施設改修や展示リニューアルなど地域会場の磨き上げ
 - ・室戸世界ジオパークセンター ⇒ 映像体感ボックスの新設等
 - ・中岡慎太郎館 ⇒ 展示ケースの増設、照明のLED化、床面バリアフリー化
 - ・龍馬の生まれたまち記念館 ⇒ パーチャル4面シアター等新コンテンツの導入
 - ・いの町紙の博物館 ⇒ 土佐和紙の歴史動画のリニューアル等
 - ・佐川町立青山文庫 ⇒ 展示ケースの増設、耐震化等の施設改修
 - ・宿毛歴史館 ⇒ 展示ケースの増設、モニター設置による展示解説の充実 など

2 周辺歴史資源の基盤整備

- 史跡への解説板等の設置による周辺歴史資源の磨き上げ
 - ⇒ 岡豊山への望櫓の設置(南国市)、二十三土関連施設への解説板設置(田野町)、五島家安芸屋敷の整備(安芸市)、史跡解説板の改修(香南市)、開成館跡解説板の改修(高知市)、名教館等での解説パネル設置(佐川町) など

3 館内ガイドの強化

- 土日祝や多客期における館内ガイドの配置支援
 - ⇒ 12会場14ポスト配置(5月末現在)

4 多言語対応

- 増加する外国人観光客の受け入れ態勢の充実強化
 - ⇒ wi-fi整備(22会場で終了)、展示解説等の多言語化(15会場でほぼ終了) など

2. 観光クラスターの形成

地域の観光事業者同士の連携による周遊コースの形成

1 周遊コースづくり

- 各会場や主要スポットを巡るモデルコースの設定
 - ⇒ 市町村エリア: 60コース、広域ブロックを含む県内周遊: 23コース
- スタンプラリー等の実施 ⇒ 7市町村で実施中
- 周遊パンフレットやマップの作成 ⇒ 博覧会にあわせて、新たに13市町村で作成
- 市町村単位の観光クラスター協議会による事業者間連携の強化

2 二次交通の整備

- 広域単位の周遊バス運行や企画切符の造成
 - ⇒ しまんと・あしずり号(地域会場特典付き)の運行、志国高知 幕末維新博 電車一日乗車券や幕末維新博安芸・室戸フリーきっぷの造成 など

3 周辺ガイドの強化

- ガイド研修によるスキルアップやガイドツールの充実
- 新たなガイド組織の立ち上げ
 - ⇒ 田野町(まちあるきガイド 田野案内人「賛」) など

3. プロモーション

歴史資源の磨き上げ等と一体となったプロモーションの展開

1 大政奉還150年等を活用した全国的な話題づくり

- 全国的な盛り上がりの創出
 - ⇒ 「新国家」龍馬書簡を活用したプロモーション(1/13記者会見)
- 首都圏等のメディアを活用した広報
 - ⇒ TV、新聞、WEB、雑誌等での露出
- 「平成の薩長土肥連合」による4県共同観光PR活動
 - ⇒ スタンプラリーの実施 など

2 博覧会の開催を広く周知する

- 旅行会社向け商談会・セールス活動
 - ⇒ 東京(5/17: 29社)、大阪(5/22: 22社)、名古屋(6/12: 13社)
- 企業とタイアップした広告 ⇒ 翼の王国 4回、スカイワード 3回、FDA春号
- PRツールによる広報 ⇒ 公式ガイドブック24万部、イベントブック22.5万部 など

今後の対応方針

1. 歴史資源の磨き上げ 2. 観光クラスターの形成

① 地域会場の磨き上げを継続して支援

⇒ 四万十市立郷土資料館、ジョン万次郎資料館、椿原千百年物語りをはじめとする地域会場の展示リニューアル など
⇒ 学芸員の派遣による技術的支援(土佐山内記念財団へ委託)

② 周辺歴史資源の整備を支援

⇒ 宿毛市林邸や津野町片岡直輝・直温生家など現存する旧家を活用するためのリニューアル、椿原町脱藩の道周辺への看板設置 など

③ ガイド体制の充実

⇒ 地域会場の展示解説や周辺観光案内を行う館内ガイドの配置支援を継続
⇒ まち歩きプログラムなどガイド研修への支援を継続

④ 多言語対応への支援

⇒ 館内の展示解説を中心とした多言語対応等を推進

⑤ 観光クラスターの形成

⇒ これまでの取り組みを継続しつつ、周知に向けた情報発信を展開

● PDCAサイクルの確立と実行

⇒ モデル地区(室戸市、いの町、宿毛市)において先行実施
指標を設定・データ等を集約 → 現状を評価し改善の方向性や対応案を検討 → 市町村等と対応案を協議・調整 → 改善策を実施・地域本部等によるサポート

3. プロモーション

① 全国的な盛り上がりを創出(タイミングを捉えたプロモーション)

⇒ 坂本龍馬書簡を活用したプロモーション
⇒ TVや映画、書籍などと連携したPRを検討
・大政奉還150年(10月)、龍馬没後150年(11月)、明治維新150年(1月~)、大河ドラマ「西郷どん」(1月~)
・県立坂本龍馬記念館リニューアルオープン(4月)

② 「平成の薩長土肥連合」や全国龍馬社中とのタイアップなど、本県とゆかりのある他県等と連携したプロモーションを展開

⇒ 大政奉還記念ウォークの開催 など

③ 効果的な旅行会社向け商談会・セールス活動

⇒ 福岡(7/6)、広島(7/19)、岡山(7/20)、東京(9/26)、大阪(10/11)、名古屋(10/24)、東京(1/18) など

④ さらなる周知や地域周遊を促すための、きめ細かな情報発信を展開

⇒ 定期的なニュースリリースの配信、HPリニューアル など

高知県観光のレベルアップへ!
歴史・食・自然を連動させた観光地づくりを推進